

けんすい (No.5)

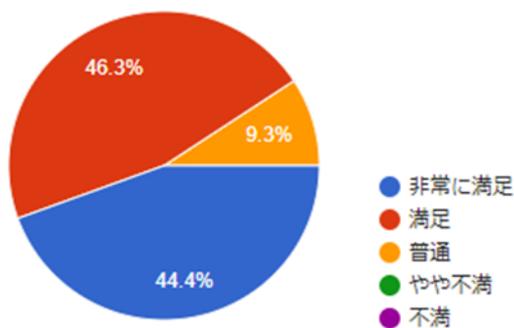


仙台市中学校教育研究会養護教育部会
研究推進委員会だより 2023/11/20
文責：研究推進委員長（東華中 青柳）

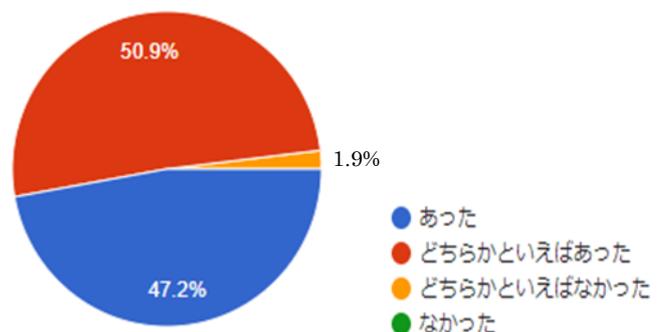
養護教育部会の研究に関するアンケート (No. 3) 結果

10月26日に開催された第3回研究会では、5グループに分かれ、それぞれ代表の先生方から、ICT活用についての事例紹介をしていただき、その後各校での取り組みについてグループトークをしていただきました。先生方の学びを共有させていただくために、アンケートの結果を一部抜粋してご紹介させていただきます。また、「他のグループで話題に上がった実践内容を知りたい」という御意見をいただきました。当日のグループ毎の記録を ClassroomCafe405 二号店に投稿いたしますので、ぜひご覧ください。意識や行動変容の部分については、研究のまとめとして研究集録第48号とR6年度に予定されている宮城県学校保健会養護教諭部会総会における紙上発表の際に活用させていただきます。

第3回研究会の満足度
(54件)



研究会に参加したことによる意識の変化 (53件)



1 実践発表やグループトークから、今後の保健教育に取り組む際に参考にしたい・活用したいと思った点

- ・学校保健委員会のオンライン開催。(保護者も気軽に参加できて良いから)
- ・まなびポケットでのおたより配信と保護者連絡、健康観察。
- ・来室時の記録での活用と情報の共有。
- ・委員会活動でのICT活用。
- ・ロイノートを使用した保健指導。
- ・職員検診や事前指導、長期休養後の健康調査でのアンケートフォーム作成。
- ・健康診断結果(発育測定等)のスプレッドシートへの入力。
- ・宮野先生の事例紹介「QRコード」を紹介すること。(自分たちが必要な時に見られる工夫が良い)
- ・個人情報の扱いに十分注意する。
- ・来室記録等を one note に載せて情報共有を行う。
- ・一人では難しいので周囲の協力を得ながらやっていきたい。
- ・デメリットもあるが、メリットが多いと感じたので本校でも活用したい。
- ・すでに自校で取り組んでいたことでも、また別の方法での取り組み方を知ることができた。
- ・転勤した時の「誰でも使えるシステムづくり」の大切さなど、課題についても考える機会となった。

- ・ICTの活用は今後高めるべきスキルだと思いますので、今後も色々参考にさせていただきたいと思います。
- ・健康診断の身長体重視力の入力を、Chromebookを使用してその場で行っている学校がありました。画期的だと思いましたが、Wi-Fi設備が必要とのことで、本校では難しいようでした。とはいえ、今後の参考になりました。
- ・保健室利用状況も個人情報の一つとして捉えていて(確かにそうなのですが)、他者から見えないように保護することも必要なのだな、と気づきました。ただ、保健室利用状況をクロームブックで入力してもC4thに反映されないのは、残念です。

2 保健教育に対する意識の変化について(具体的な点)

- ・ICTを学んで少しでも事務の効率化や発信方法を工夫していきたい。(多数)
- ・苦手意識が強かったが一步前に踏み出せそうな気がした。活用の幅が広がったように感じた。(多数)
- ・ICTは使い始めるまでのハードルが高く感じていましたが、先生方の実践を聞いてイメージが湧き、工夫すればうまく活用できることを知り、活用していきたい思いが強くなりました。(多数)
- ・タブレットでの学習が当たり前になっていく現状なので、自分も使いながら慣れていくしかないと思った。デジタルのメリット・デメリットはよく吟味していきたい。
- ・ICTを活用している方が増えてきていることを実感し、自分も何かしなければと危機感を抱いた。
- ・ICT活用はすぐには軌道に乗りにくく、詳しい方の協力を得ながら試行錯誤を重ねなくてはならないと思った。
- ・皆さんいろいろとICTを活用していることがわかり、良い刺激になりました。私自身も活用方法がわからないこともありますので、先生方の活用方法をまねしてみることから実践できればと思います。
- ・養護教諭が積極的に生徒に発信していく姿勢が大事だなと思いました。
- ・現在校の生徒のために自分ができることを考えていきたいと思いました。
- ・現代の子供たちのICT機器慣れをもっと利用できる、こちらが考えるよりも容易に活用してくれる。
- ・保健教育を行うなかで、どのようにICTを取り入れていくかが課題だと感じました。また、自分のスキルアップの必要性について改めて感じました。
- ・ICTを活用する方法や注意点、実践してみてもの難しさやメリット。
- ・保健教育を実践するに当たり、ICTの活用は、指導内容の定着に有効である。
- ・動画やLIVEによる一斉配信で多くのクラスへの保健指導が可能になること。
- ・健康観察をグーグルフォームで行うにあたり、全生徒のクロームブックの取り扱いを変更してもらえよう、教職員へ提案したこと。先生方に説明するのに動き出せずにはいましたが、先生方の実例を伺って勇気をいただきました。
- ・大規模校では、委員会を行う際に一つの教室に全員を集めることができない。そのため、ICTを活用することで、意見の集約をはじめ話し合いをスムーズに行うことができるのではないかと、委員会運営上でのヒントをいただくことができた。
- ・ICTの活用は必要かもしれませんが、一方でアナログの方式も忘れてはいけないなと思いました。
- ・ICT活用が避けて通れない現実として認識されました。
- ・できないと尻込みしていないで、積極的にICT活用に取り組んでいきたい。

3 本日の研究会についての、気づきや学びなどの感想

- ・各校の取り組みを具体的に知ることができてよかった。(多数)
- ・自校での実践のヒントになった。以前より前向きに、意欲的に活用していきたいと思った。(多数)
- ・皆さんの前向きな姿勢に励まされる思いでした。
- ・久しぶりの招集型の研修会、改めて良いなと思いました。年1回、このような形を希望いたします。

- ・先生方のお話を伺って、生徒の実態とそれに合った活用をされていることが分かった。他校の実践を良さそうだからとすぐに飛びつかず、自校の課題や実態に応じて、目的やねらいを明確にして、ICTを活用することのメリットやデメリットも考慮したうえで、本当に必要かどうか検討して進めていく必要があることを学んだ。また、実践を継続していくためには、独りよがりにならず校内で理解協力を得ることや、スムーズに引き継ぐための仕組みづくりも大切だということ学んだ。
- ・まだまだクロームを使いこなせておらず、少し苦手意識を持ってしまっていたのですが、使ってみると保健教育や保健指導のバリエーションも増えそうだと思います。できそうなところから少しずつやってみたいと思います。グループワークは他校の実践等も伺えるのでとても良いのですが、発表があると発表のためにまとめることに意識が向きがちになってしまうので、発表がなく、ざっばらんに情報交換したり話し合ったりできた方が良いなと思いました。
- ・ICTの活用についてはメリットもデメリットもあると思いますが、うまく使いこなすことで、業務の効率化だけでなく、より多くの生徒の情報を可視化できたり、より多くの生徒や保護者に情報を発信できたりと思うので、まずは知識を深めて積極的に活用できるようにしたいと思います。保健委員会のクラスルームはすでに作成していたのですが、委員会での話し合いにも活用できるという気づきがあったので、今後やってみたいと思います。
- ・生徒保健員会で活用している先生方が多く、参考にしたい実践がたくさんありました。一方で個人情報に関する問題などデメリットもあることが分かりました。そこについては慎重に取り扱っていく必要があると思いました。先生方の実践を参考にし、よりよい指導や執務のスリム化を目指したいと思います。
- ・他の学校さんでも同じように生徒の委員会で活用している先生が多く、話が盛り上がってよかったです。
- ・個人的な意見になりますが、保健室内で来室者に記録を自分で入力させたり、健康観察を入力させる事は生徒にとって効果的なのでしょうか…。私たちの仕事は顔と顔で向き合って生徒との関係を築いていくことで成り立つと思っています。規模や生徒の実態にもよるのかもしれませんが…。誰のためにITCを使うのか、使うことで生徒がよい方向に向かうのかを考えて使用していく必要があると思います。
- ・養護教諭同士の意見交換、情報交換、meetでの会議は大変良いと思います。
- ・ICT支援員の方にせっかく来ていただいているので、遠慮せず分からないことはどんどん聞いていこうと思います。学校によってICTの使用頻度にとっても差があるように感じたので、できることからICTを使用した保健教育に移行していきたいと思います。
- ・ICTを活用しようと思えば様々な形で取り入れられること、一方でデメリットもあるため本当にICTで行うことが必要かなどを考えながら取り入れる必要があることを学ぶことができました。再度、執務の中にICTを入れることができるか確認したいと思います。
- ・互いの実践を共有することで、自分の力量を高められるし、またはスキルが増えると思います。
- ・ICT支援員さんや情報担当の先生にご協力いただきながらアンケート調査など実践してみたいと思います。
- ・自分自身の実践するための技量が足りないため、実際にchromebook等を操作しながらアンケートの作り方や、アップする方法など初歩的なことから学べる場があるといいなと思いました。”
- ・今回は小グループでしたので、多くの先生方と情報交換ができ、刺激になります。やはり養教同士で話せる場があると、悩みを解決しようと力をいただきます。
- ・仙台市の学校において、ICT活用でできることできないことなど整理して教えてほしいと感じた。
- ・ブロックごとではなく、くじ引きでランダムに決めた班での研修は、普段お話する機会のない先生方とも意見交換をできて、大変楽しく有意義な時間でした。
- ・執務の引き出しを増やすことができました。育てたい生徒の姿や学校の実態によっては、従来のやり方が合う場合もあるので、どちらも大切にしていきたいと思いました。

- ・いろいろな実践が可能なことは理解しましたが、その具体について方法論がわかりません。例えば健康教育などで養護教諭向けに、具体的な事例での講習会を開催していただき、小さな実践を積み上げることで、力をつけていけたら理想的だと感じています。
- ・委員会活動や来室記録など身近なところでも活用することができるのだと学び、ICT 活用への抵抗感が軽減しました。来室者数や気になる生徒などについて、教職員との情報共有でも積極的に ICT を活用していきたい、と感じました。
- ・時間がないところではありますが、もう1校くらい学校での取り組みについて紹介があってもよかったかな、と思います。
- ・今回の保健室利用についてクロームブックで入力させるという方法はよいのですが(個人情報を守るという点において)、それが C4thに反映されないと働き方改革にまでは至らないと残念に思いました。(C4thは改善したくても、要望は受け入れられないので)
- ・自分はICTを全く使えていないと思っていましたが、皆さん似たようなお考えをお持ちなのだとしたことと、自分を含め、皆さん案外活用されているとわかりました。良かったです。

アンケート回答へのご協力、ありがとうございました。